島原半島うみやま街道～歴史と水と温泉のまち～

別紙－１

■活動のねらい

・島原半島のスケールの大きい自然・景観資源や、『南島原市の潜伏キリシタン関連の歴史』『島原市の湧水を活かしたまちづくり』『雲仙市の雲仙・小浜温泉』３市それぞれの特色がある資源を活かした観光振興や地域活性化のため、島原半島を巡る道を通じて、市域を越えた新たな観光ルートづくりやイベントを実施し、訪れる人々に島原半島の魅力を余すこと無く伝えていく。

■活動エリアと地域資源

・島原半島全域に広がる国道57号、251号、389号などを中心とする地域、全長約194km
・中央部に雲仙普賢岳及び平成新山が聳え立ち、東は有明の海、西は夕日が映える橘湾、北側は干潟の諫早湾と周囲を海に囲まれた自然豊かな地域。
・平成２１年８月に日本第１号の「ユネスコ世界ジオパーク」として島原半島全域が認定され、平成３０年７月には「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産として原城跡が世界文化遺産に登録されるなど、壮大な自然が作り出す景観とそこに暮らす人々の歴史などの文化遺産が数多く存在している。

■地域の活動推進体制

「島原半島うみやま街道推進協議会」
【構成】
民間：小浜温泉５７、星のスピリッツ隊、
道の駅 みずなし本陣ふかえ　等
（活動団体　計４８団体）
行政：島原市、雲仙市、南島原市、長崎県
長崎河川国道事務所

■地域資源、活動内容

道守による清掃活動の様子

①鍋島邸（雲仙市）

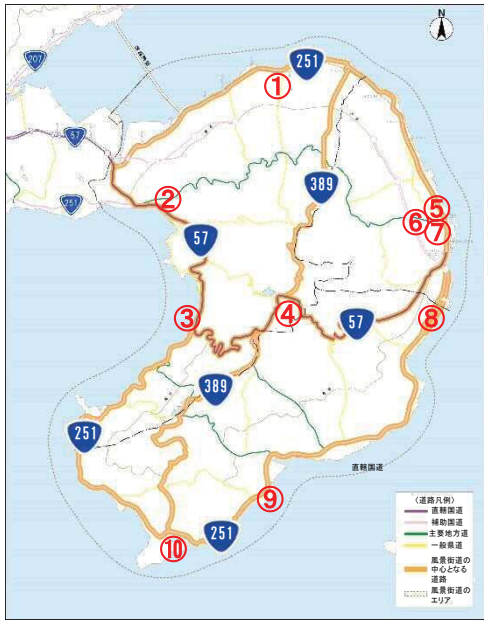
⑤島原城（島原市）

⑥鯉の泳ぐまち（島原市）

②千々石断層（雲仙市）

③足湯『ほっとふっと105』（雲仙市）

④雲仙温泉と地獄（雲仙市）



⑦武家屋敷（島原市）

⑧「道の駅」みずなし本陣ふかえ（南島原市）

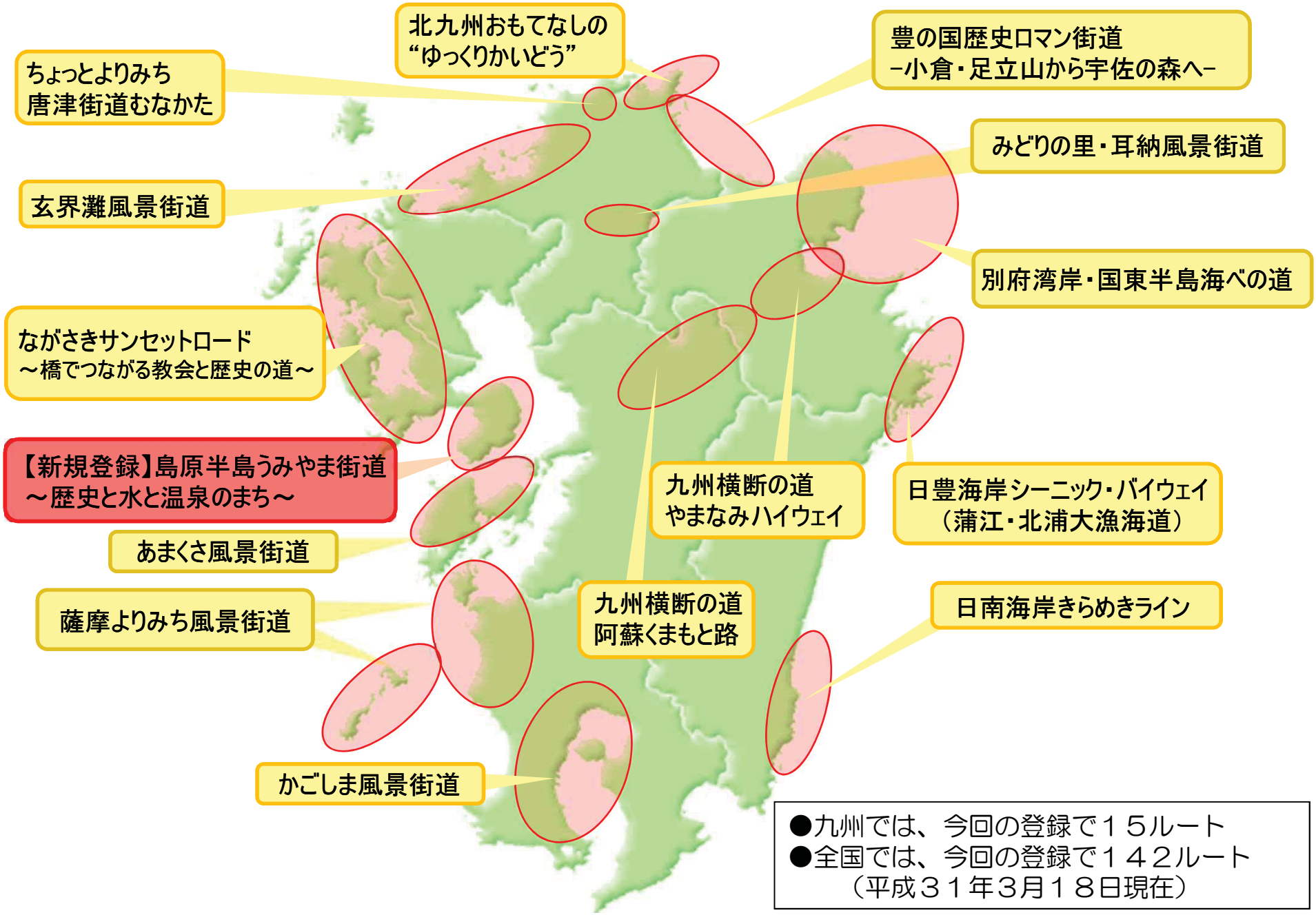
⑩口之津歴史民俗資料館（南島原市）

⑨原城跡（南島原市）

地域資源のガイドの様子

島原半島うみやま街道～歴史と水と温泉のまち～

九州



●九州では、今回の登録で１５ルート
●全国では、今回の登録で１４２ルート
（平成３１年３月１８日現在）

日本風景街道　九州ルート

九州

●風景街道とは

住民・NPO・企業などが主体となって行政と連携しながら、道を舞台に風景や自然・歴史・文化など、地域ならではの資源を活かした「美しい景観づくり」「活力ある地域づくり」や「観光の振興」を行っていく取り組みです。
それぞれの活動を活発にすることで、にぎわいや元気のある地域を目指します。